

第38回 中国ミニバスケットボール交歓大会【岡山大会】

女子決勝

日時	2019年1月6日(日) 13:00~		
会場名	きびじアリーナ	(A)コート	
大竹ミニバスケットボール 教室	42	{	25
	13 — 6 10 — 6 12 — 4 7 — 9		井口ミニバスケットボール 同好会

選手名	背番号	得点	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	2ポイント	フリースロー	ファウル
三間 萌	4	12	6		1	千代田 紗希	4	7	3	1	2
新谷 日華里	5	10	4	2	1	湯川 来瑠美	5	2	1		
渡辺 鈴菜	6	4	2		1	坂根 碧	6	1		1	2
新本 瞳空	7	4	2		2	津麥 未遥	7	0			2
景岡 真歩	8	10	3	4	3	大井 千悠	8	11	5	1	3
岡田 育羽	9	0			1	黒上 愛加	9	0			
平内 楓香	10	2	1			形部 優菜	10	0			2
景岡 心春	11	0				信友 美花	11	0			
中島 万優子	12	0				伊藤 みほ	12	2	1		
橋下 心暖	13	0			1	大原 望実	13	2	1		
宮下 沙羅	14	0				為数 美羽	14	0			
山本 紗江	15	0				岩尾 彩加	15	0			
新井 柚憂	16	0				山本 輝	16	0			
竹林 樹那	17	0				三宅 穂果	17	0			
宮下 奏	18	0				久光 瞳衣奈	18	0			
合計		42	36	6	10	合計		25	22	3	11

戦評

1P 気迫のあふれるチーム同士。相手にボールを奪われまいとヘルドボールが3回続く。そんな中、大竹④がボールをカットしドリブルで攻めフリースローをもらうもシュートが決まらず、開始1分間両者得点が入らなかった。井口⑧がディフェンスをうまくかわし、ようやく最初の得点となる。大竹がボールを奪うと⑧へと高さを活かしたパスで相手のファウルを誘った。高さのあるディフェンスを井口は崩すことができずアウトサイドからシュートを放つも決まらない。その間に大竹⑤が連続で得点を決める。残り時間が少ないなか⑧がステップを踏んでシュートを決めると、すぐさま大竹⑤がブザービートを沈め13-6大竹のリードで1P終了。

2P 開始1分間は両者ディフェンスの手を緩めず得点が動かない。井口④⑥がドライブを仕掛け、フリースローを誘った。フリースロー後すぐ大竹⑥がインサイドのシュートを決め、オフェンスリバウンドに成功後フリースローをもらった⑧が2本とも決めた。井口はオフェンスのスペースを広くするなどチャンスがうかがうも得点には繋がらず、流れを変えたいところでタイムアウトをとった。再開直後に井口⑬のシュートが決まる。ところが大竹④の高さを活かしたプレーですぐに返す。井口⑤のドライブショットが決まったあと、残り時間1分を切ったところで大竹が連続得点。23-12と点差が広がった。

3P 大竹のスローイン後、④のインサイドプレーが決まる。その後、井口⑦のシュート、大竹⑥のアウトサイドシュートが決まった。井口はハーフコートのディフェンスで大竹に追いつきたいところだが両者得点の入らない苦しい時間が続く。大竹④がドリブルで突破しパスを受けた⑩がシュートを決め、すぐさま井口⑧はアウトサイドからのシュートで返すがその後は高さのあるプレーを活かした大竹を崩すことはできなかった。35-16と19点差で3Pが終了した。

4P 粘り強いリバウンドショットを放つ大竹に対抗すべく、スピードで返す井口。大竹④のインサイドのシュートが決まったところで井口がタイムアウト。点差は20点で大竹リード。再開後、井口⑧が巧みなステップインでシュートをねじ込んだが得点が続かない。残り1分となり井口のディフェンスをオールコートに切り替え粘りをみせるが、一度も井口にリードを許すことなく42-25で大竹が勝利した。

